

宇治情報

No.84

(体験集通算 434号)

宝 蔵

二〇二一年をふりかえって

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹

師走に入り、今年も残すところあと一月ほどになりましたが、宝蔵会の皆様には日頃から、宇治別格本山の諸活動におきまして、ご協力とご理解をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

今年一年間は、昨年から続いております「新型コロナウイルス」による感染の拡大の影響で、人類社会に大きな影響を与え、世界全体で多くの方が感染し、現在約二億五千万人以上の方が感染し、また五百十四万人を超える方がなくなるといふ歴史始まって以来の事態となっております。当宇治別格本



山におきましては、練成会を始め、八月に予定されていましたが、盂蘭盆供養大祭も昨年に引

き続き中止となりました。またこれから新年にかけて、感染拡大の「第六波」も懸念されておりまして、毎年恒例の年始に予定されております「宝蔵神社新年祭」は、前回と同じく「無参列」で行うことになりました。皆様方にはご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍にあつては、日々の生活が困難な状況が続いておりますが、この様なときこそ真理の生活に心がけることが大切であると思ひます。『万物調和六章経』の中で「天下無敵となる祈り」が掲載されていますが、この中で「・・・すべてのものは自分の生命の兄弟姉妹であり、自分の生命の分かれであり、自分と一体なのである。それを称して「自他一体」と称するのである。」と示されて、全ての動物、植物などの全ての生物の命は自分と一体であると書かれています。続いて「・・・いかなる細菌も真菌もウイルスも、すべて生あるものは、神の命を宿し（次頁に続く）

てこの世に出現せるものであるから神の子である私を害することは決してないのである。」と書かれており、さらに「宇宙の一切の生命は、唯ひとつの神の生命に生かされ、唯ひとつの神の智慧に支配され、導かれている・・」としめられています。そして「・・もし細菌、真菌、ウイルス等にて病を起すことがあるならば、それは自分の

神癒の社入龍宮幽齋殿

写経奉安式が行われます

祈願部 部長

阿部 秀輝

心に何か不調和が存在し、天地一切のものと和解していない事があるのが影をあらわしているに過ぎないのであって・・」と書かれております。「新型コロナウイルス」による混乱は世界規模で発生しておりますことから、これまでの歴史における人類全体の意識の中で何らかの不調和の心が合わさって、その心が原因となって発生しているの

ではと感じます。したがって、この事態は観世音菩薩の慈悲の説法であることとらえまして、日々神想観の実習を行って神の叡智に心を合わせ、自他一体の真理に目覚め、また聖典、聖經、賛歌の読誦を行って祈りを深め日常生活を整えて、世界の平和と繁栄を祈念していきたいと思います。

随想

合掌ありがとうございます。皆様から奉納されました写経を神癒の社入龍宮幽齋殿から写経奉安礼拝殿へ奉安致します。「写経奉安式」が、十二月九日に行われます。奉納写経、約九千巻、これより十年間奉安され、写経祈願成就の讃歌・聖經読誦と写経祝福祈念が続けられます。「奉納写経の素晴らしさは、願い事を書いて、真理の言葉を書き写し、奉納することにあります。写経祈願成就の体験は情報誌『宝蔵』と「宇治別格本山ホームページ」に掲載さ

れておりますのでご覧ください。

また、「書初め」の郵送受付が十二月一日から始まりました。来年一月三十一日迄行います。申込書を同封しておりますので、皆様からの申込みをお待ちしております。

次に神癒祈願ですが、神癒祈願は実相圓滿の自覚と感謝によって神癒が行われると言われております。宇治別格本山神癒祈願課から「神癒人型」をお送りしております。お申込みに関しましては「ペイパル」の利用が増えておりま



「ペイパル」で行いますと、早めに「神癒人型」をお届けすることが出来ます。

最後に神想観についてですが、入龍宮というのは龍宮に入ると書かれています。龍宮とは海(生み)の底、一切のものを神様が生み出し給うところの底生長の家でいう実相の世界です。神癒の社とは、『古事記』に目無堅間(めなしかつま)の小船(おぶね)に乗っ

て龍宮へ道案内される神話があります。この目無堅間にあたるのが「神癒の社」です。その目無堅間の小船に乗れば、龍宮海に入っていくことになり、目無というの、時間、目盛がないということ、堅間というのは堅い間と書きますが堅く空間が詰まっているので無空間ということで、時間の流れなく、空間の広がりなく、無の一点にこれは存在します。無の一点という

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

D. A (40代)〈男性〉

本年度三回目の参加となり、心から感謝申し上げます。

実は参加する前日の昼、私は社内昇格試験の結果が不合格とわかり、心はかなり沈んでいました。そんな事実を受け止めながら参加した講話の中で「何かがあつたら困る」のではなく「何かあつても大丈夫！」の信仰を持つことを教えていただきました。この不合格も明るく見えるようになりました。

実相世界の時間と空間とを超えた世界が現象界に展開して来るところの、レンズの中心のようなところです。しかし、実相の世界から現象世界に展開して来る、そのレンズのところが曇っている、現象世界というスクリーンに映って来る姿が、曇った姿、即ち、不幸、災難、病気というような状態が現われて来るのですが、その心のレンズが無空間、無時間の、どんな引っかけ

本来なら引きこもりになっていたかも知れないところを、自分が何故この日を選んでいたのでわかりませんが、絶妙なタイミングでした。

今日を忘れず、先ずここで大切にしたいことは感謝の生活を送り、当たり前前に感謝すること、すると自分から周り、周りから自分を見る目が変わるということが信じられました。

宇治に来るまで暗い私でしたが「光が闇を消す」ように、今日参加出来てよかったです。また来月も参加します。

りもないところの、空なる、無なる心境になって実相世界から直通して、曇りも、屈折もなく、直接実相世界が現象世界に現われる。その境目のレンズになるところの「社」が、この「神癒の社」です。神想観を実修するために「神癒の社入龍宮幽斎殿」は昭和四十六年に落慶致しました。

S. W (60代)〈女性〉

講話が再開され、嬉しく喜んで参加しました。

清水講師の「周りの人は自分そのもの。すべては自分から発している」とのお話。丁度最近実感することがありました。私は言葉がきつい主人に対して、いつも「どうしてあんな言い方をするのだろう」と思っていました。でもある事をきっかけに「やっぱり主人はずごいな」と思うようになり、そうすると主人の立場に立って、考えられるようになりました。「私が主人を裁いていたのだなあ」と気 (6頁に続く)

ご先祖と共に悦びの一日講話 12月講話プログラム

日時	会場 大講堂	講話のテーマ&行	講師	テキスト
4日 土	10:10~11:00	開会の祈り・本にあるものとは	岡田 浩二	理想国へのご招待
	11:15~12:00	嬉しい楽しい神想観	長田 忍	理想国へのご招待、詳説神想観
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00~13:50	悦びの座談会	清水 志郎	
	14:00~14:50	神様に悦ばれる生き方・閉会の祈り	榎本 一子	理想国へのご招待
5日 日	10:10~11:00	開会の祈り・どんな境遇も魂を磨くための砥石	長田 忍	理想国へのご招待
	11:15~12:00	繁栄は感謝から始まる	清水 志郎	理想国へのご招待
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(長田 忍)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00~13:45	光に向かって伸びよう	榎本 一子	理想国へのご招待
	14:00~14:50	輝く未来が待っている・閉会の祈り	岡田 浩二	理想国へのご招待
11日 土	10:00~11:00	世界規模感染症物故者追悼慰霊祭		自然災害物故者慰霊塔前
	11:15~12:00	開会の祈り・相手の実相を拝みましょう	岡田 浩二	日々の祈り
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(清水 志郎)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00~13:50	相手は神よりとえられた愛の対象	榎本 一子	
	14:00~14:50	愛と賛嘆の言葉を雨降らせよう	清水 志郎	日々の祈り
	14:50~15:20	実相円満通行・閉会の祈り	岡田 浩二	新しい文明を築こう・中巻
12日 日	10:10~11:00	開会の祈り・人間は霊的実在である	榎本 一子	日々の祈り
	11:15~12:00	悦びの先祖・流産児供養	岡田 浩二	日々の祈り
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(榎本 一子)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00~13:45	神・先祖・父母に生かされて	長田 忍	日々の祈り
	14:00~14:50	袖触れ合うも多生の縁・閉会の祈り	清水 志郎	日々の祈り
12月16日午後3時30分より「先祖・流産児供養祭」が執り行われます。記載した霊牌を奉納金1柱100円以上を添えて現金書留にてお送りくださいれば、宝蔵神社霊殿に奉安されます(メ切は13日必着)。「先祖・流産児供養祭」はFacebook投稿からライブ配信いたします。ぜひご覧ください。				
18日 土	10:10~11:00	天分を生きる幸せ	清水 志郎	森の日ぐらし、生活の智慧365章
	11:15~12:00	結び合い、生長し合うこと	岡田 浩二	森の日ぐらし、生活の智慧365章
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00~13:50	悦びの座談会	長田 忍	
	14:00~14:50	女性が一番輝くとき・閉会の祈り	榎本 一子	森の日ぐらし、生活の智慧365章
19日 日	10:10~11:00	開会の祈り・想念は意志よりも強い	長田 忍	森の日ぐらし、生活の智慧365章
	11:15~12:00	神の御声を聴くには	榎本 一子	森の日ぐらし、生活の智慧365章
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(榎本 一子)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00~13:45	神の子を生きる	清水 志郎	森の日ぐらし、生活の智慧365章
	14:00~14:50	吾れ折れば天地応う	岡田 浩二	森の日ぐらし、人間苦の解放宣言
	14:50~15:20	折り合いの神想観 実修・閉会の祈り	岡田 浩二	新しい文明を築こう・中巻
25日 土	10:10~11:00	開会の祈り・愛とは自己への自覚	榎本 一子	神と偕に生きる真理365章
	11:15~12:00	魂の悦びは愛より来たる	清水 志郎	神と偕に生きる真理365章
	12:00~13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(長田 忍)	昼食希望の方は弁当をご予約ください。 (食堂休業日となりますので、2日前までに予約しなければご用意できません)
	13:00~13:50	悦びの座談会	岡田 浩二	
	14:00~14:50	愛行こそ我が使命・閉会の祈り	長田 忍	神と偕に生きる真理365章
26日 日	10:10~11:00	開会の祈り・罪本来なし	榎本 一子	神と偕に生きる真理365章
	11:15~12:00	浄心行について	岡田 浩二	神と偕に生きる真理365章、人間苦の解放宣言
	12:00~13:00	浄心行用紙記載・昼食・休憩		昼食希望の方は弁当をご予約ください。 (食堂休業日となりますので、2日前までに予約しなければご用意できません)
	13:00~13:45	お父さんお母さんに感謝しよう	長田 忍	神と偕に生きる真理365章
	13:50~14:50	大浄心のための「浄心行」実修・閉会の祈り	清水 志郎	聖經「甘露の法雨」、万物調和六章経 聖歌歌詞集

※25、26日は食堂が休業日となります。共に2日前までに弁当を予約しておかなければ昼食を用意することができませんのでご注意ください。よろしくお願致します。

聴講希望者 30 名迄は三密を避け感染防止対策を行った上、参加出来るようにする。(会場は人数に応じて使用する)

🏠 会場での講話聴講に是非お越しください 🎁

感染拡大に十分配慮したうえ、講話の聴講を受け付けます。(宿泊不可・事前予約制)

◆ 参加条件 (参加人数は先着 30 名)

- ・ ワクチン接種 2 回目を終え、14 日以上経過した 65 歳以上の高齢者の方もご参加いただけます。
- ・ 基礎疾患 (糖尿病・心不全・呼吸器疾患 (COPD 等)・透析を受けている方・免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方) をもった方は参加をご遠慮ください。
- ・ 当日検温の体温が 37 度以上の方は参加をご遠慮ください。
- ・ 息苦しさ・咳・だるさ・軽い風邪症状等、当日体調不良の方は参加をご遠慮ください。
- ・ 宿泊はできません。
- ・ ご予約は、電話または Facebook・ホームページの申込みフォーム上で、参加日 2 日前までにしてください。

◆ 参加にあたっての注意事項

- ・ 本山内ではマスクの着用をしてください。(1 枚 50 円で受付でも販売しています)。
- ・ トイレ使用時は石鹸で手洗いをしてください。
- ・ 受付や会場・食堂・トイレ等の出入りの際は手のアルコール消毒をしてください。
- ・ ソーシャルディスタンス (約 2 m) を守り身体的接触 (ハグや握手) は避けてください。
- ・ 注意事項を守っていただけない方はお断りいたします。

◆ 受付時

- ・ 申込み用紙の体調記入欄を必ずご記入ください。

◆ 会場内での注意事項

- ・ 座席はソーシャルディスタンスを保ち、椅子の移動はご遠慮ください。
- ・ 至近距離での会話、大声での会話はしないでください。
- ・ 飲食はご遠慮ください。

◆ 食堂使用時の注意事項 (昼食利用の方は事前にご予約ください)

- ・ マイ箸・マイボトル・ハンカチをご持参ください。
- ・ 1 テーブルに 1 名ずつ座り、皆、同じ方向を向いて食事をしてください。
- ・ 食堂内での会話はしないでください (黙食)。

◆ お申込み方法 (締切：参加日 2 日前まで)

- ・ 電話 0774-21-2153 (練成部) または Facebook かホームページの申込みフォームにて、お名前・県名・電話番号・生年月日・参加ご希望日 (別紙参照) をお伝えください。

◆ 奉納金 (昼食代は別途要／ご随意)

大人・・・1,500 円 / 子供 (3 歳～12 歳)・・・750 円



(3頁から続く)がつきました。主人のきつい言葉は私から発していたのです。私が心を変えると主人の言葉も最近ほ優しくなってきました。

宇治へ向かう電車の中で、『生命の實相』第十八巻を読んでいたので、丁度私と同じようにご主人のきつい言葉に悩んでいたけれども、心を変えたら優しくなったという奥様のお話があり、講話とも相まって、本当にぞつた」と実感しました。

祈りについての講話を聴いて、今までの私の祈りは懇願の祈りになりがちだったと思いました。三人の講師のお話を通じて、祈るときは問題に対する不安などは捨て去り、完全なる実相・実在を祈る、既に解決済み、すでにわが願い成就せりと信じて、感謝することが大事であると教えていただきました。祈るときは正しい祈りをする、何度も聞いていましたが、なかなかできていませんでしたが、これからはできるような気がしています。

講師先導の「祈り合いの神想観」も素晴らしく、神の心とわたしの心とのパイプの錆が取れたように思いました。来てよかったです。

K. R (40代) (女性)

今日の講話は、私の体験談を読んでくださった方から人生相談を受け、私の心で答えても申し訳ないと思い、講話を受講しました。

つい問題解決を考えていましたが、只相手を拝ませていただくことが大切で、私が悦びで話したことは、相手にも悦びで伝わると思えました。時々人から相談をうけることもありましたが、問題解決でなく拝ませていただくと思えました。問題など相談されたときに、失礼のないようになど思っていた自分に反省です。

悦びしかないし、問題は神様が解決してくださると思えました。しかも神様は問題も作っておられないのでナイですね。それも忘れていました。

Y. S (70代) (女性)

第二講話から受講させていただきました。私の心境にピッタリの御講話でした。「愛を深める。感謝を深める。光だからここに来た。」嬉しくて感動の



四十五分間でした。

二時から命日供養祭に参加させていただきます。感謝です。

謝いっばいで供養祭に行き感謝のお聖経を誦げられますことに感謝です。愛を深め、感謝を深め、神・自然・人間大調和の世界を明るく精進致します。素晴らしい御講話、ありがとうございます。

午後は「あなたの人生に微笑みかけよ」のテーマで御講話いただきました。毎日の生活の中で実践すること、実感体験、違いがあらわれくる。とても具体的にわかり易くお話いただき、感謝申し上げます。

今日は素晴らしい御講話を受講させていただきました。神様、御先祖様に心より感謝申し上げます。

N. U (60代) (女性)

二年振りに宇治に来ることが出来て練成部の講師の方々の御講話を拝聴出来たことに感謝の思いでいっぱいです。コロナ禍の中で朝の祈りのオンライン

ン配信をしてくださり、又寄せ書き写経をお送りくださり、ありがとうございます。ありがとうございました。

「緊急事態宣言が解除されたら宇治へ行きたいな」と思っていたら、主人から「宇治へ行こう」と話が出て、とてもうれしい思いで十三、十四日を楽しみにしていました。世の中が色々と変化していく中で、宇治の宝蔵神社、講師の皆様は何も変わっていない！「神の子」「実相田満完全」「問題はない」と改めて私の中に入ってきて、嬉しい気持ちが増えました。ありがとうございます。来られたことに本当に感謝です。

I. E (70代) <女性>

久しぶりに講話が聴かせていただいたりと教えられて、参加させていたいただきました。すばらしいお話にもうぐっと惹きつけられ、今までの迷い、疑問が一気に解消され、スッキリ明るい気持ちになりました。実践あるのみ、自分を毎日祝福していこうと決意しました。もう十年にもなりますが、講師に個人指導していただいた長男の家族は、

今は田満に暮らしています。いつも心から感謝しています。

H. M (60代) <女性>

今回の一日講話は一生忘れません。全てが今、私が悩んでいる事への神様からの答えでした。講師の方々は、生長の家の根本の根本、真髓を説いてく



個人指導の礼状

M. C (70代) <女性>

ございました。短い時間の中で、神様はしっかりと悟らせてくださり、講師の皆様が私の今行く道と方向を明確に示してくれました。来させていただき、本当に良かったです。心から講師の方々、宇治別格本山に感謝しております。又来させていたいただきたいと思えます。コロナの時期にしっかりと喜びたいと思えます。

お電話で個人指導いただきました。有難うございました。娘とは依然として歯車がかみ合わず、いつもの不調和な感じはお互いに直らず、私自身を責めておりました。娘はとうとう私の言葉で心を閉ざし、無言を決め込んでしまい、いつもは一週間以内で解決するのに、長引いていました。毎日胸が締め付けられるようにつらかったです。六月のご指導の時は「徹底して愛を出すこと」とご指導いただきました。

七月には、先祖供養のことでご相談しましたところ「感謝の供養」と教えていただきました。『有難うございます』

を一日一万回、出来たら二万回唱えること、そしてそれをカウントする。一か月経ったら、又知らせてください。これはコトバを変える練習です。自分の人生を素晴らしいものにしてくれる娘だと感謝できるようにあります。娘さんを変えるためではない」と。

「有難うございます」一万回を目指してカウントを始めました。しかし三日目にして肩こりでダウン、三日間寝込んでしまい、しばらくやめにしました。友達に言ったところ、自分もやったことがあると、ビーズ玉の輪を送ってくれました。これは音も出ないので、家

族にも迷惑がかからず又再開！カウント器は外へ出て散歩しながら唱えるときに使いました。

言われた感謝唱行を徹底して始めました。娘のことがあるから真剣にやれたのだと思います。「現象は消えていく姿」と自分に言い聞かせ、聖典を読み、CDを聴いていました。

気がついたら二十年以上笑顔を見せなかった息子が笑顔を見せてくれるようになったのです。主人も結婚以来笑わない人が、ちよこちよこ笑い顔になる、面白い返事をしてくれる、「この人は楽しいひとだったのだ」と分かったのです。

そしてその日がやって来ました。主人の八十二才の誕生日です。「お祝いは何がいいか」と尋ねると「うなぎ」と言いました。家でうなぎを作りました。娘からは高級ブドウと梨、一流洋菓子店のケーキとワイン、そして私にも誕生日プレゼントをくれました。私は五月、七十七才喜寿を迎えていたので、それを遅れはしましたが、祝ってくれたのです。娘は完全に心を開いてくれました。以前より一層素晴らしくなっているのです。

私は只々早く半身を見つけて、結婚してほしいとの願いが先走っていましたが、全て順序があることがわかりました。

二ヶ月経ったら知らせてください」のお言葉が気になり、何か結果報告をしなくては・・・と思っておりましたが、電話しても講師は何度か不在で、報告



入龍宮幽齋殿 建立される

昭和四十二年、谷口雅春先生は『生長の家』誌新年号の「明窓浄机」の中

するときはその時ではなかったのです。その後です。うれしい変化が起こったのは・・・。

感謝唱行は神様と波長を合わせる最短の行だと分かせていただきました。ご指導に感謝しています。有難うございました。

で、入龍宮幽齋殿を建立することを次のように発表されました。

昨秋(昭和四十年)宝蔵神社の大祭の時、私は宇治本山の山頂まで上がって、既に山の頂きが切り崩されて千五百坪ほどが平地になっている有様を見、実にそこが崇高なる社殿を建立するのに最も適当な顕幽相應の地であることを見たのであった。あそこに本尊殿を建立する気持ちになったのは、信徒の熱願として人間の幸福を願うよりも、先ず神を正面に顕わすべきであって、人間の幸福は神を顕彰はその投影として地上に成就するのである。それなのに今迄、主として人間自身の幸福ばかりを祈ってきていて、神を顕彰することを忘れていたから、生長の家の本尊神



たる（住吉大神）を顕彰する住吉神社を山頂に建てたいという信徒の盛り上がる熱情で設計図まで出来上がっていたのである。しかしその設計図を見たとき、住吉神社を神社形式の神殿で建てれば、神道の一宗派みたいな形になって、キリスト教やイスラム教までも包容する生長の家の方教包容の大理想が形の上から崩れてしまうので、改めて設計の再考を依頼したのであった。そして新しい設計の模型までできたところで、昭和四十一年の八月の生長の家最高首脳者会議に諮ったところ「わが神殿は既に成れり、名づけて、**生命の実相**という・・・この神は宮の中にあるような神ではない。神殿は要らぬ。供え物もいらぬ。**生命の実相**の本の扉を開くことがわが神殿の扉を開くことである」という意味の神示があるので、本尊を祀って拝んで拝み倒してご利益を得ようとするような神様が、

生長の家大神ではないから、拝むための本尊殿を造るようなことは、

信者に誤解を招き、世間から生長の家もとうとう既成宗教と同じになったと批評されることにもなるからやめた方が神意にかなう・・・というような結論になり本尊殿の建立は中止の形になったのである。

しばらくして、私（谷口雅春先生）が、潜在意識の底に宇治本山の山頂に建立したいと思っているのは本尊を祀るための社殿ではなく、「神癒の社」であることを直感したのであった。

第七次元の実相界に存在する「神癒の社」を御心の天に成るが如く地上に建立するのは、神を宮の中に祀りこめて置く、容れもののような神殿を造ることではないのである。それは実相世界の「神癒の社」の延長を現象世界につくることによって、現象世界の人間を実相世界の「神癒の社」に直参せしめる媒介をつくることである。

そこでやはり私はあの宇治山頂に「神癒の社」を「入龍宮幽斎殿」として建てることに決めたのである。

幽斎とは形式を通して神を礼拝するところの顕斎に対する語である。すな



わち魂を鎮めて神と一体となることを帰する神想観を厳修する齋殿のことである。

入龍宮とは？龍宮とは、生みの底即ち創造の根底の世界であり、実相世界であり、神想観の世界であり、神想観によって、本来無病無苦無争の実相世界に入ることを、**入龍宮**というのである。

幽斎殿は最初の住吉神社建立計画の

ときのように、信徒の盛り上がる熱情と浄財とのみによって建造したい。そしてそれらの人が昇殿して神想観を厳修するところの幽齋殿にふさわしいものとしたい。

こうして世界でただ一つの「神想観」の殿堂「幽齋殿」が、宇治別格本山に建立されたのです。

〈神癒祈願のお礼状〉



祈 願 成 就

K. A 〈女性〉

先月祈願をお願いしておりました息子は、無事にエジプトから帰国し、コロナにも罹りませんでした。息子の嫁の胆のう除去手術も成功しました。心よりお礼申し上げます。

大聖師谷口雅春先生の強いお志をうけて昭和四十六年建立された幽齋殿は、およそ五十年たった今も、大拜殿で神想観をするひと、写経室で静かに写経をする人、神癒祈願の申し込みに訪れる人、生長の家の純粹宗教部門を担って、四季折々の季節の巡りの中で、雄大な八角形の神殿は空に映えて、信仰深い信徒のよりどころになっています。

ワクチンの副反応が 消えました

C. M 〈女性〉

この度、持病を持つ孫がコロナワクチンを接種後、発熱と共に失神し、救急搬送されました。入院することなく帰宅しましたが、微熱と頭痛に苦しんでいました。すぐに神癒祈願を申し込ませていただきました。しかし、申し込んだのが木曜日なので、届くのは月曜日になると、焦る気持ちを抑えておりました。ところが、速達で人型が土曜日に届き、寝衣に挟んで寝たところ、ぐっすりと眠れたようです。翌朝は

すっきりして、朝食も食べられたと聞き、これこそ神癒の御心を頂いたのだと、思わず合掌させていただきました。この一年間、多くの神癒を頂きました。夫が胆のう炎で重症になりました。夫が完治したり、四十代の友人の娘が初産で、臨月で逆子になりましたが、人型を身に付けて診察を受けたら正常な位置に戻り、三日後に無事に出産しました。また、息子の嫁の父親が頸椎狭窄症の手術で激痛に耐えていた時、人型があると実感すると、不思議と痛みが消え、医師との巡りあわせも良くなりました。本当にありがとうございます。

素晴らしい新居が 見つかりました

A. W 〈女性〉

神様の御心に適った住まいが見つかるよう、祈願をお願いしておりましたところ、この度無事に素晴らしい新居にご縁を頂きました。

遠方での新居探しの上、コロナ禍の

「新春書初め」 郵送申込みのご案内

「新春書初め」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、郵送のみの取扱いとさせていただきます。

◎受付期間 令和3年12月1日
～同4年1月31日迄

◎奉納金 200円以上
(大人・子ども共通)

◎現金書留、または郵便為替にてお申し込みください。

書初めは1年間、写経は10年間、写経奉安礼拝殿に奉納し、毎日讃歌、聖經読誦が行われています。

詳しくは、祈願部写経課(0774-21-2305)までお問い合わせください。

影響もあり、スムーズに住まいが見つかるか…等の不安がありました。こうして祈願を申し込み、また家族で祈っているから大丈夫だと、ただ神様の御心のままに…と思い、いざ家探しへと向かいました。遠方からですので、滞在期間も短く、できれば今回で見つけて欲しい気持ちでしたが、なかなか良い住まいがなく、また出かけ直さなければならぬか…と思っていました。帰る前日に、ふと気になっていた

エリアの不動産会社に足を運んだところ、条件にピッタリのところを提示してくださり、見学に行くと、申し分ない環境の新居が見つかりました。もう無理かと思っていたところに、こうして神様の御導きをいただきましたのも、神癒祈願のおかげであると、家族皆、感謝感謝でした。いつも変わらぬご愛念、御心使いを頂いておりますことを、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

右肺が治り、

娘とも会えました

H. Z (女性)

いつもお世話になっております。夜突然咳込んで、血痰と吐血がありました。病院で検査をすると、右の肺に枝分かれしている器官が潰れていて、右肺の上方に膿がかかった状態なので、内視鏡で調べるか様子を見るかと言われ、様子をみることにしました。息子夫婦が神癒祈願を申し込んでくれました。咳と血痰がピタリと止まりました。娘のことで、どうしても行かなければならない状況でしたので、次の検査まで日があるので、息子たちの協力もあり、一年半ぶりに音信不通だった娘と会うことができました。本当に嬉しかったです。検査の結果、潰れた器官も治り、肺の膿も消えている、どこにも調べる所がないので今日で終了です、と言われました。本当にありがとうございました。

◆ オンラインによる対面個人指導（無料）を行います ◆

※お申込みにより日程を調整致します。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：長田忍本部講師・清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補

岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補

（担当講師のご希望はお受けできません）

条件：zoom かメッセージをご自分で繋げられる方

お申込み方法：facebook 生長の家宇治別格本山ページ、または、
メール rensei@uji-sni.jp へ、メッセージでお名前（ふりがな）・電話番号・ご希望日時をご送信ください。

担当講師等、こちらより返信いたします。



宝蔵神社先祖・流産児供養祭

=== 12月16日（木）午後3時30分～ライブ配信 ===

記載いただいた霊牌は、奉納金1柱100円以上を添え現金書留にてお送りいただくと、宝蔵神社霊殿に奉安されます（13日必着）。供養祭はFacebook「生長の家宇治別格本山」ページにて、ライブ配信致しますので是非ご覧ください。

練成会は令和4年1月まで中止です。

再開は、ホームページ・Facebook・お電話にてお問い合わせください。



🎁🎁🎁 12月宇治別格本山で行われる行事 🎁🎁🎁

- 5日（日）14:00～ 繰り上げ命日供養祭（12月24日～27日分）
- 9日（木）10:10頃～ 写経奉安式（1年分の写経を写経奉安礼拝殿に奉安）※無参列
- 11日（土）10:00～ 世界規模感染症物故者追悼慰霊祭※無参列
- 12日（日）14:00～ 繰り上げ命日供養祭（12月28日～31日分）
- 13日（月）10:00～ 宝蔵神社月次祭（ライブ配信）※無参列
- 全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭※無参列
- 16日（木）15:30～ 宝蔵神社先祖・流産児供養祭（ライブ配信）※無参列
- 19日（日）10:00～ 末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭※無参列
- 14:00～ 繰り上げ命日供養祭（令和4年1月1日～5日分）



宗教法人生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得

